

第44回「秋田県内企業の景気動向調査」結果
(令和4年5月調査)

～ 景況感は2期ぶりに悪化。先行きも慎重な見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲13.3（前回調査比5.7ポイント下落）と2期ぶりに悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が小幅ながら改善した一方、「売上高」と「営業利益」は悪化し、「人員人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業で2期連続の改善となった一方、製造業とサービス業では2期ぶりに悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲22.7（前回調査比14.8ポイント下落）、中央が0.0（同1.5ポイント上昇）、県南が▲30.2（同12.2ポイント下落）となり、中央では小幅ながら改善した一方、県北と県南では悪化となった。
- **先行き見通し**は、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲15.3（今回調査比2.0ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、回答企業（353社）の60.6%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（60.3%）から0.3ポイントとやや上昇したものの、ほぼ横ばいとなった。
- **春季以降の賃金改定動向**について春季以降の賃金改定動向についてうかがったところ、全業種では「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は49.6%となり、前年調査（45.8%）から3.8ポイント上昇した。
- **新型コロナウイルス感染症の事業への影響**について、事業活動全体における平常時（コロナ禍前）の経営状況を100とした場合の今年度の業績見通しについてうかがったところ、全業種では「80～100」と回答した企業の割合が65.7%で最も高く、前年調査（2021年5月実施。62.2%）から3.5ポイント上昇した。

令和4年5月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 夏季ボーナスの支給動向について	12
(1) 支給予定動向	12
(2) 支給予定額について	14
2. 春季以降の賃金改定動向について	16
3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響	17
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	18
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	18

I. 県内企業の業況

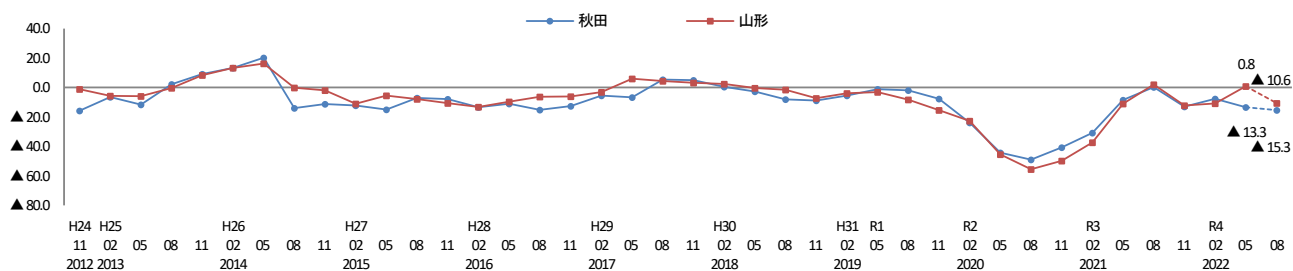
1. 概況

～ 景況感は2期ぶりに悪化。先行きも慎重な見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲13.3（前回調査比 5.7ポイント下落）と2期ぶりに悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が小幅ながら改善した一方、「売上高」と「営業利益」は悪化し、「人員人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。

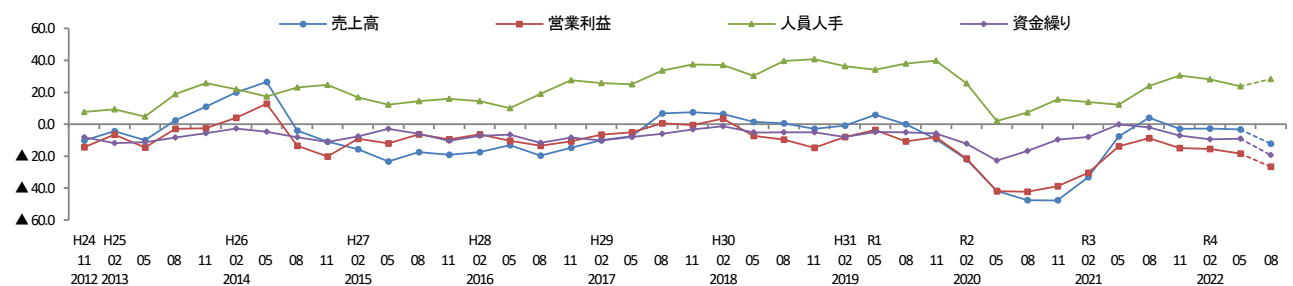
先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲15.3（今回調査比 2.0ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。経済活動の再開や人流回復の動きが見られるものの、コロナ禍の影響の長期化に加え、ロシアのウクライナ侵攻や円安に伴う原材料や燃料費価格の高騰もあって先行きは依然不透明で、慎重な見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	22.2	▲ 37.8	▲ 7.6	▲ 13.8	12.2	▲ 0.2
2021.08 (n=364)	0.2	8.7	▲ 22.8	4.1	▲ 8.8	23.9	▲ 1.9
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 13.2	▲ 15.1	▲ 2.8	▲ 15.0	30.5	▲ 7.0
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	5.4	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 15.4	28.2	▲ 9.4
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	(▲ 5.7)	▲ 25.7	▲ 3.2	▲ 18.4	23.8	▲ 9.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.5)	(▲ 3.0)	(▲ 4.4)	(0.3)
先行き見通し	▲ 15.3	-	-	▲ 12.2	▲ 26.6	28.3	▲ 19.3
今回調査比	(▲ 2.0)	-	-	(▲ 9.0)	(▲ 8.2)	(4.5)	(▲ 10.2)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

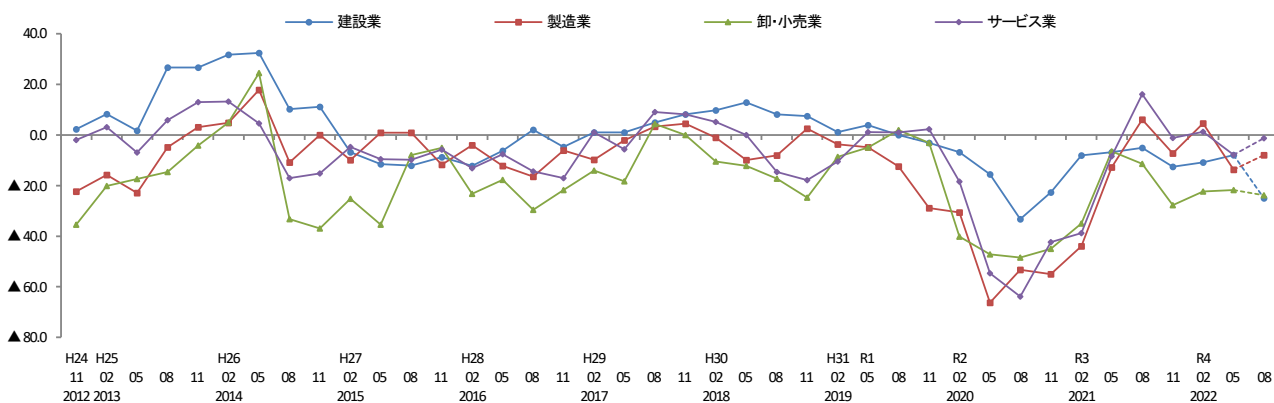
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業で2期連続の改善となった一方、製造業とサービス業では2期ぶりに悪化となった。

業況の先行き見通しは、製造業とサービス業で再び改善が見込まれる一方、建設業と卸・小売業では悪化が見込まれている。

図表 3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 6.8	▲ 12.8	▲ 6.5	▲ 8.4
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 5.1	6.1	▲ 11.4	16.1
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 27.7	▲ 1.2
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 10.8	4.6	▲ 22.3	1.2
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 21.8	▲ 7.8
前回調査比	(▲ 5.7)	(2.8)	(▲ 18.3)	(0.5)	(▲ 9.0)
先行き見通し	▲ 15.3	▲ 25.0	▲ 8.0	▲ 23.8	▲ 1.3
今回調査比	(▲ 2.0)	(▲ 17.0)	(5.7)	(▲ 2.0)	(6.5)

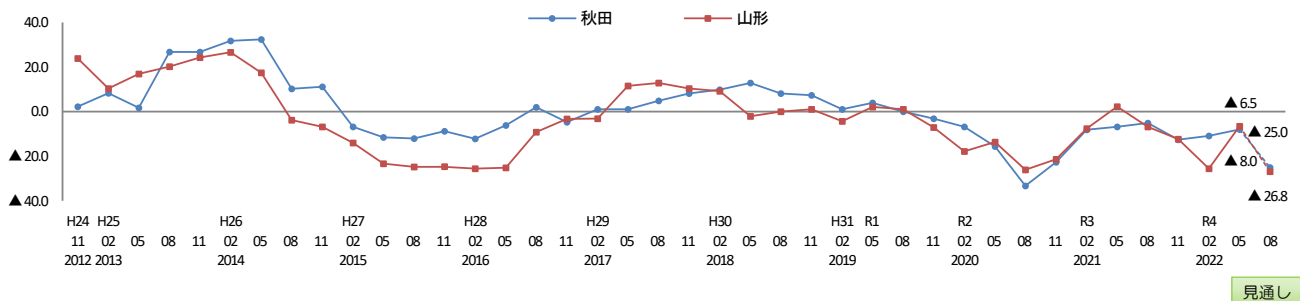
(2) 業種別DI値の動向

① 建設業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.0（前回調査比2.8ポイント上昇）と、小幅ながら2期連続で改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、4項目すべてで改善となり、「人員人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、資材価格の高騰や燃料費の上昇のほか、資材や設備機器の納期遅延が収益に影響を及ぼしている状況がうかがえた。

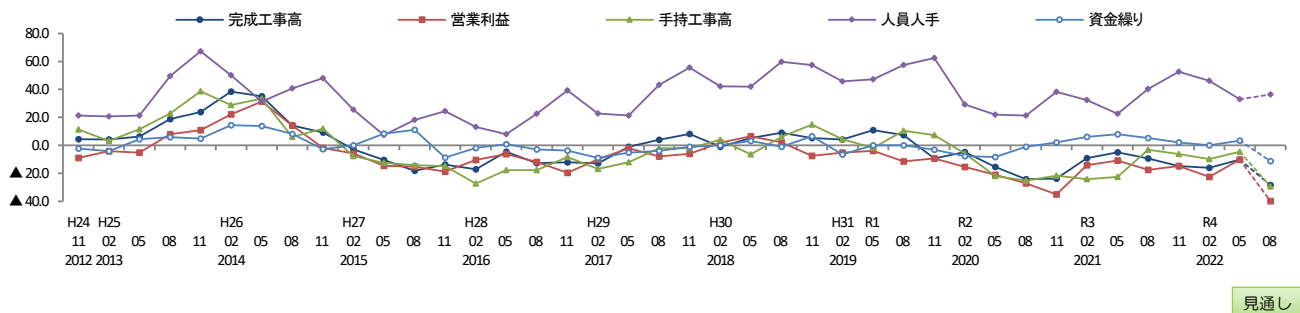
先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲25.0（今回調査比17.0ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

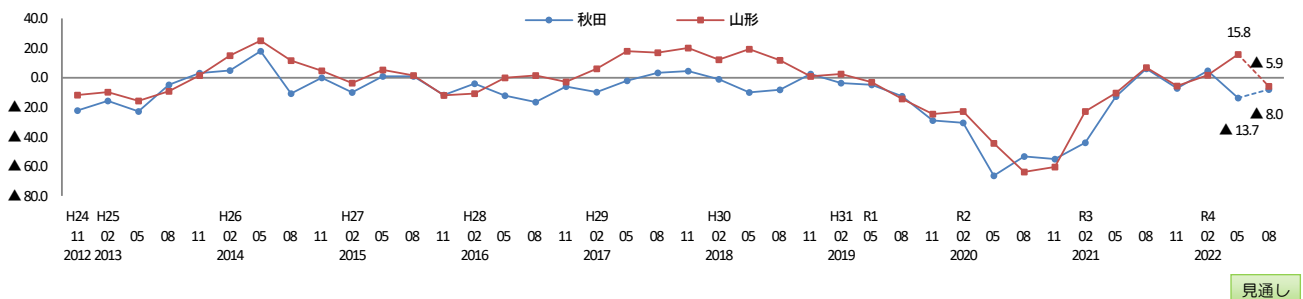
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2021.05 (n=102)	▲ 6.8	1.3	▲ 29.3	▲ 4.9	▲ 10.8	▲ 22.6	22.5	7.9
2021.08 (n=97)	▲ 5.1	1.7	▲ 19.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 3.1	40.2	5.2
2021.11 (n=95)	▲ 12.6	▲ 7.5	▲ 20.7	▲ 14.7	▲ 14.7	▲ 6.3	52.6	2.1
2022.02 (n=93)	▲ 10.8	1.8	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 22.6	▲ 9.7	46.2	0.0
2022.05 (n=88)	▲ 8.0	(2.8)	▲ 22.6	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 4.6	32.9	3.4
前回調査比	-	-	-	(5.9)	(12.3)	(5.1)	(▲ 13.3)	(3.4)
先行き見通し	▲ 25.0	-	-	▲ 28.4	▲ 39.8	▲ 29.5	36.3	▲ 11.3
今回調査比	(▲ 17.0)	-	-	(▲ 18.2)	(▲ 29.5)	(▲ 24.9)	(3.4)	(▲ 14.7)

② 製造業

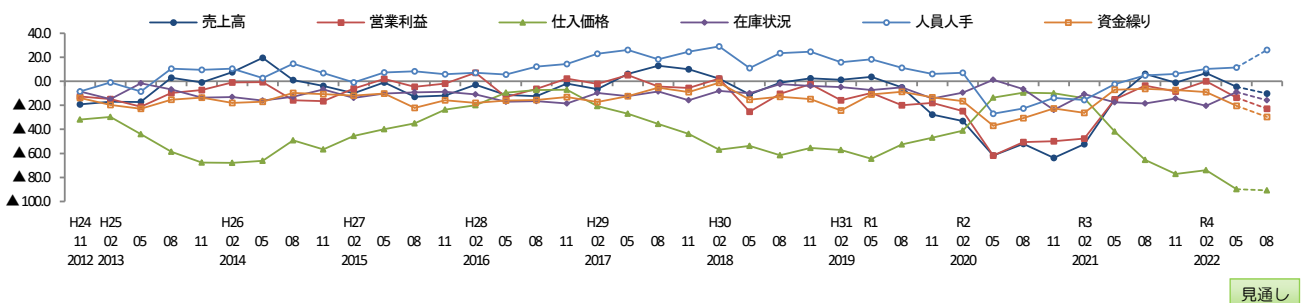
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲13.7（前回調査比 18.3 ポイント下落）と2期ぶりに悪化し、再び「悪化」超に転じた。「各種D I 値（前年同期比）」では、「在庫状況」が改善した一方、営業利益などの4項目はいずれも悪化した。また、「人員人手」は小幅ながらプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、電子部品では引き続き受注が好調に推移している一方、飲食や衣料品関連などではコロナ禍の影響から依然として業況の厳しさがうかがえた。また、原材料や燃料価格等の上昇に伴う収益への影響を懸念しているコメントも多く見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.0（今回調査比 5.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

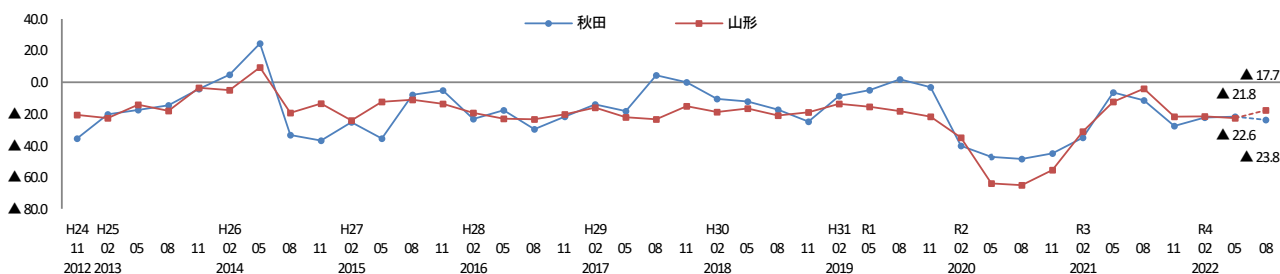
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.05 (n=86)	▲ 12.8	31.2	▲ 35.7	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 41.8	▲ 17.5	▲ 2.3	▲ 7.0
2021.08 (n=81)	6.1	18.9	▲ 11.6	6.2	▲ 3.7	▲ 65.4	▲ 18.5	4.9	▲ 6.2
2021.11 (n=83)	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 3.7	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 77.1	▲ 14.4	6.0	▲ 7.2
2022.02 (n=88)	4.6	11.9	▲ 2.4	6.8	0.0	▲ 73.9	▲ 20.4	10.3	▲ 9.1
2022.05 (n=88)	▲ 13.7	(▲ 18.3)	▲ 26.1	▲ 4.6	▲ 13.6	▲ 89.8	▲ 9.1	11.4	▲ 20.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.4)	(▲ 13.6)	(▲ 15.9)	(11.3)	(1.1)	(▲ 11.3)
先行き見通し	▲ 8.0	-	-	▲ 10.3	▲ 22.8	▲ 90.9	▲ 15.9	26.1	▲ 29.6
今回調査比	(5.7)	-	-	(▲ 5.7)	(▲ 9.2)	(▲ 1.1)	(▲ 6.8)	(14.7)	(▲ 9.2)

③ 卸・小売業

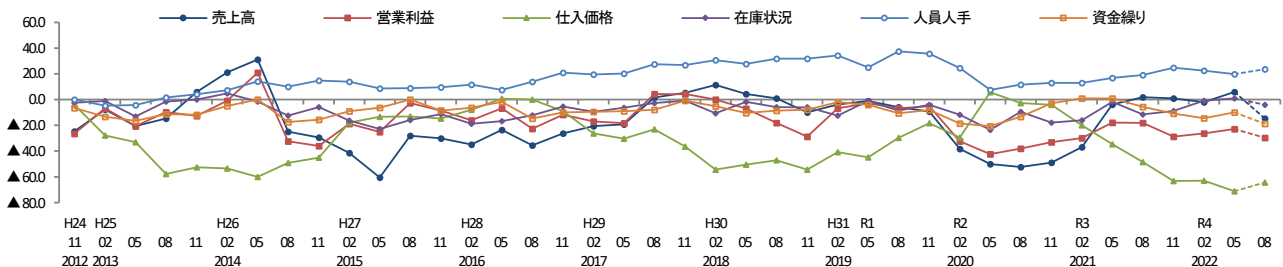
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲21.8（前回調査比0.5ポイント上昇）と小幅ながら2期連続で改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」が悪化となった一方、「売上高」や「資金繰り」などの4項目は改善し、また、「人員人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、総じて仕入価格や燃料費等の上昇による収益への影響がうかがえたほか、家電等の設備機器や自動車関係では、半導体の供給不足に伴う納期遅れによる業況への影響が引き続き見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲23.8（今回調査比2.0ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

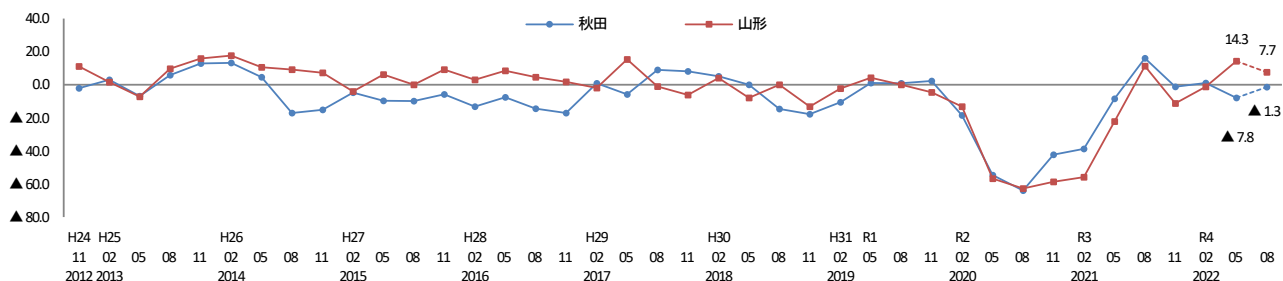
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.05 (n=107)	▲ 6.5	28.5	▲ 34.0	▲ 3.8	▲ 17.8	▲ 34.6	▲ 1.8	16.8	1.0
2021.08 (n=105)	▲ 11.4	▲ 4.9	▲ 28.0	1.9	▲ 18.1	▲ 48.6	▲ 11.5	19.1	▲ 5.7
2021.11 (n=101)	▲ 27.7	▲ 16.3	▲ 20.9	1.0	▲ 28.7	▲ 63.3	▲ 8.9	24.7	▲ 10.9
2022.02 (n=103)	▲ 22.3	5.4	▲ 16.8	▲ 2.0	▲ 26.2	▲ 63.1	▲ 0.9	22.4	▲ 14.5
2022.05 (n=101)	▲ 21.8	(0.5)	▲ 33.0	5.9	▲ 22.8	▲ 71.3	1.0	19.8	▲ 9.9
前回調査比	-	-	-	(7.9)	(3.4)	(▲ 8.2)	(1.9)	(▲ 2.6)	(4.6)
先行き見通し	▲ 23.8	-	-	▲ 14.8	▲ 29.7	▲ 64.3	▲ 4.0	23.7	▲ 18.8
今回調査比	(▲ 2.0)	-	-	(▲ 20.7)	(▲ 6.9)	(7.0)	(▲ 5.0)	(3.9)	(▲ 8.9)

④ サービス業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲7.8（前回調査比9.0ポイント下落）と2期ぶりの悪化となり、再び「悪化」超に転じた。「各種DI値（前年同期比）」でみると、「資金繰り」は改善となった一方、「売上高」と「営業利益」は悪化となり、「人員人手」では2期連続で小幅ながらプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、建機レンタルで堅調な動きが続いたほか、宿泊業や観光関係では持ち直しの兆しが見られた一方、飲食業では依然として来店客の減少が続いており、コロナ禍による影響が色濃くうかがえた。また、物価や燃料費等の上昇が収益に影響を及ぼしているとのコメントが多く見られた。

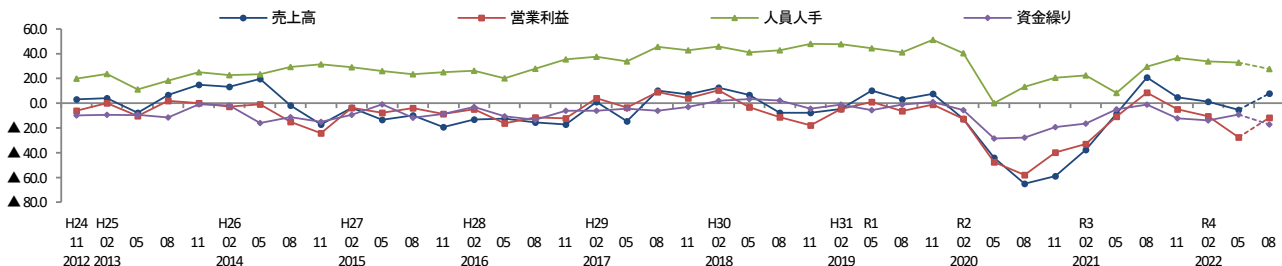
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲1.3（今回調査比6.5ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.05 (n=83)	▲ 8.4	30.4	▲ 54.1	▲ 8.4	▲ 10.8	8.4	▲ 4.8
2021.08 (n=81)	16.1	24.5	▲ 31.4	20.9	8.6	29.6	▲ 1.2
2021.11 (n=82)	▲ 1.2	▲ 17.3	▲ 12.3	4.8	▲ 4.8	36.6	▲ 12.2
2022.02 (n=86)	1.2	2.4	▲ 1.2	1.2	▲ 10.5	33.7	▲ 13.9
2022.05 (n=76)	▲ 7.8	(▲ 9.0)	▲ 19.8	▲ 5.3	▲ 27.6	32.9	▲ 9.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.5)	(▲ 17.1)	(▲ 0.8)	(4.7)
先行き見通し	▲ 1.3	-	-	7.9	▲ 11.8	27.6	▲ 17.1
今回調査比	(6.5)	-	-	(13.2)	(15.8)	(▲ 5.3)	(▲ 7.9)

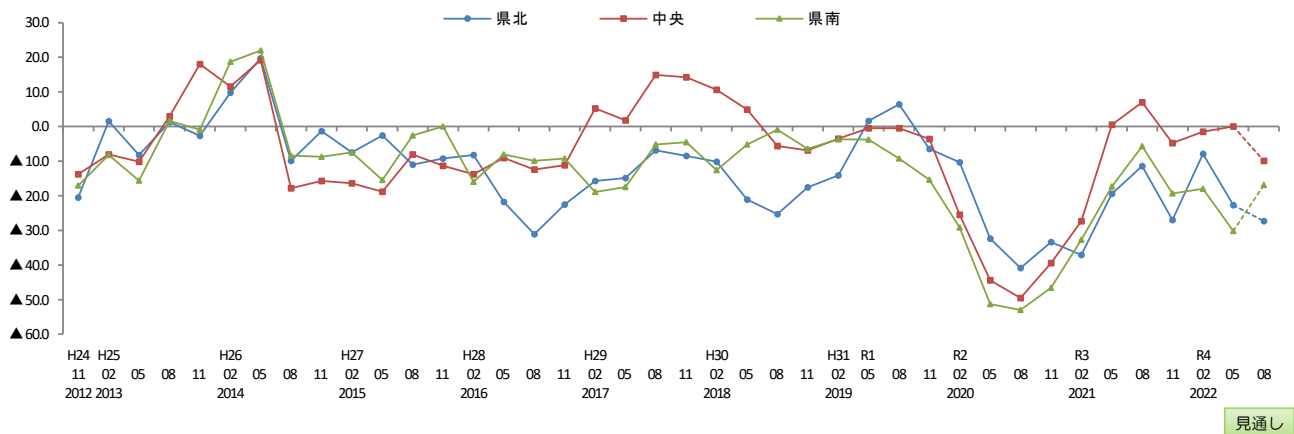
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲22.7（前回調査比 14.8 ポイント下落）、中央が0.0（同 1.5 ポイント上昇）、県南が▲30.2（同 12.2 ポイント下落）となり、中央では小幅ながら改善した一方、県北と県南では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県南では改善が見込まれる一方、県北と中央では悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 19.4	0.5	▲ 17.3
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 11.4	7.0	▲ 5.7
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 27.0	▲ 4.8	▲ 19.3
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 7.9	▲ 1.5	▲ 18.0
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 22.7	0.0	▲ 30.2
前回調査比	(▲ 5.7)	(▲ 14.8)	(1.5)	(▲ 12.2)
先行き見通し	▲ 15.3	▲ 27.3	▲ 9.9	▲ 16.9
今回調査比	(▲ 2.0)	(▲ 4.6)	(▲ 9.9)	(13.3)

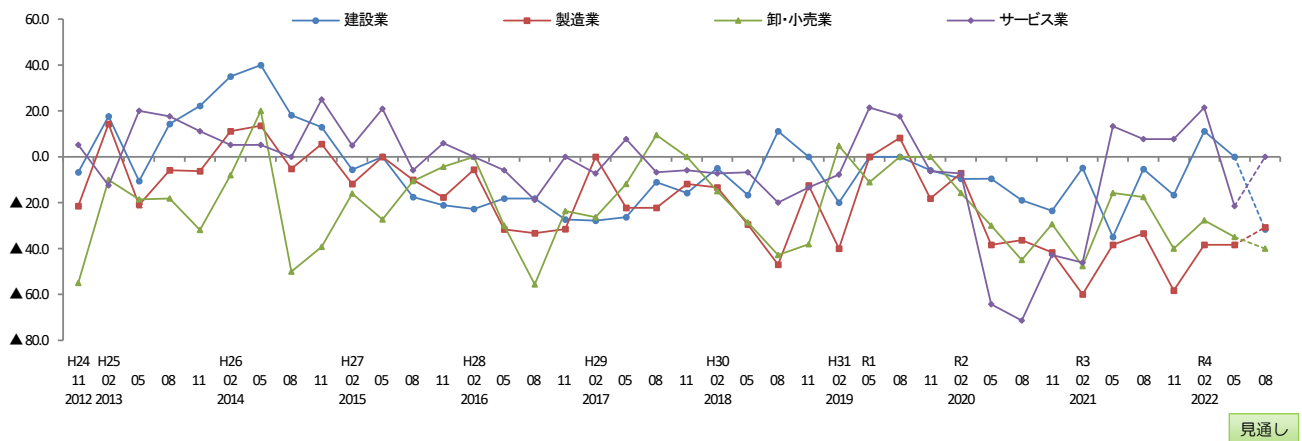
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲22.7（前回調査比 14.8 ポイント下落）と 2 期ぶりの悪化となった。業種別では、製造業で横ばいとなった一方、その他の 3 業種では悪化となり、このうちサービス業は悪化幅が大きく、「悪化」超に転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.3（今回調査比 4.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業とサービス業で改善が見込まれる一方、建設業と卸・小売業では悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

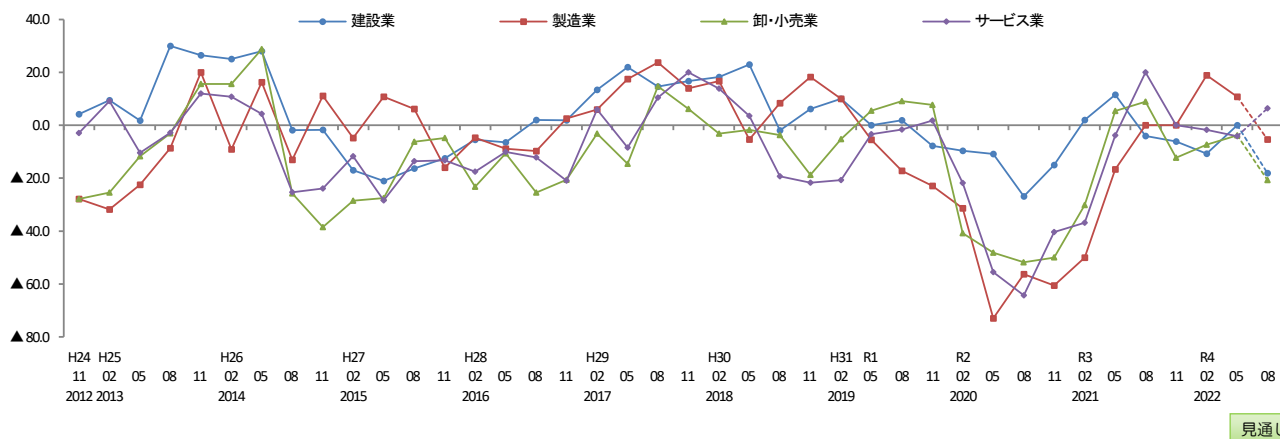
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.05 (n=67)	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 38.4	▲ 15.8	13.3
2021.08 (n=61)	▲ 11.4	▲ 5.3	▲ 33.4	▲ 17.6	7.7
2021.11 (n=63)	▲ 27.0	▲ 16.6	▲ 58.3	▲ 40.0	7.7
2022.02 (n=63)	▲ 7.9	11.1	▲ 38.4	▲ 27.7	21.5
2022.05 (n=66)	▲ 22.7	0.0	▲ 38.4	▲ 35.0	▲ 21.5
前回調査比	(▲ 14.8)	(▲ 11.1)	(0.0)	(▲ 7.3)	(▲ 43.0)
先行き見通し	▲ 27.3	▲ 31.6	▲ 30.8	▲ 40.0	0.0
今回調査比	(▲ 4.6)	(▲ 31.6)	(7.6)	(▲ 5.0)	(21.5)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 0.0（前回調査比 1.5 ポイント上昇）と 2 期連続で改善し、3 期ぶりに「悪化」超を脱した。業種別では、製造業とサービス業で悪化となった一方、建設業と卸・小売業では改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.9（今回調査比 9.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、サービス業で改善が見込まれる一方、その他の 3 業種では悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

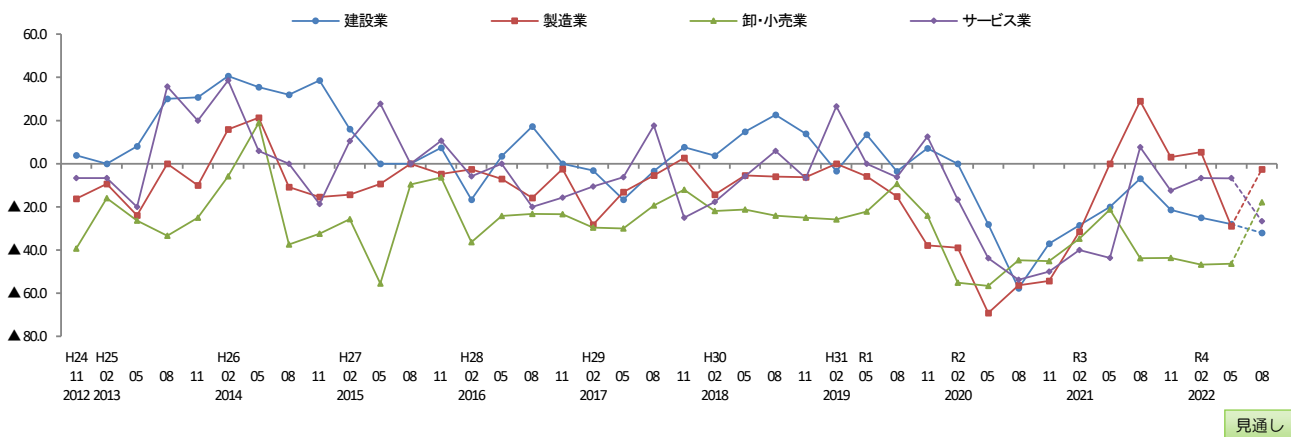
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.05 (n=195)	0.5	11.5	▲ 16.7	5.4	▲ 3.8
2021.08 (n=198)	7.0	▲ 4.1	0.0	8.9	20.0
2021.11 (n=189)	▲ 4.8	▲ 6.1	0.0	▲ 12.3	0.0
2022.02 (n=196)	▲ 1.5	▲ 10.7	18.9	▲ 7.3	▲ 1.8
2022.05 (n=181)	0.0	0.0	10.8	▲ 3.8	▲ 4.2
前回調査比	(1.5)	(10.7)	(▲ 8.1)	(3.5)	(▲ 2.4)
先行き見通し	▲ 9.9	▲ 18.1	▲ 5.4	▲ 20.7	6.4
今回調査比	(▲ 9.9)	(▲ 18.1)	(▲ 16.2)	(▲ 16.9)	(10.6)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲30.2（前回調査比 12.2 ポイント下落）と 2 期ぶりの悪化となった。業種別にみると、卸・小売業で小幅ながら改善となった一方、その他の 3 業種では悪化となり、このうち製造業では悪化幅が大きく、5 期ぶりに「悪化」超に転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲16.9（今回調査比 13.3 ポイント上昇）と改善の見通しとなっている。業種別では、建設業とサービス業で悪化が見込まれる一方、製造業と卸・小売業では改善が見込まれている。

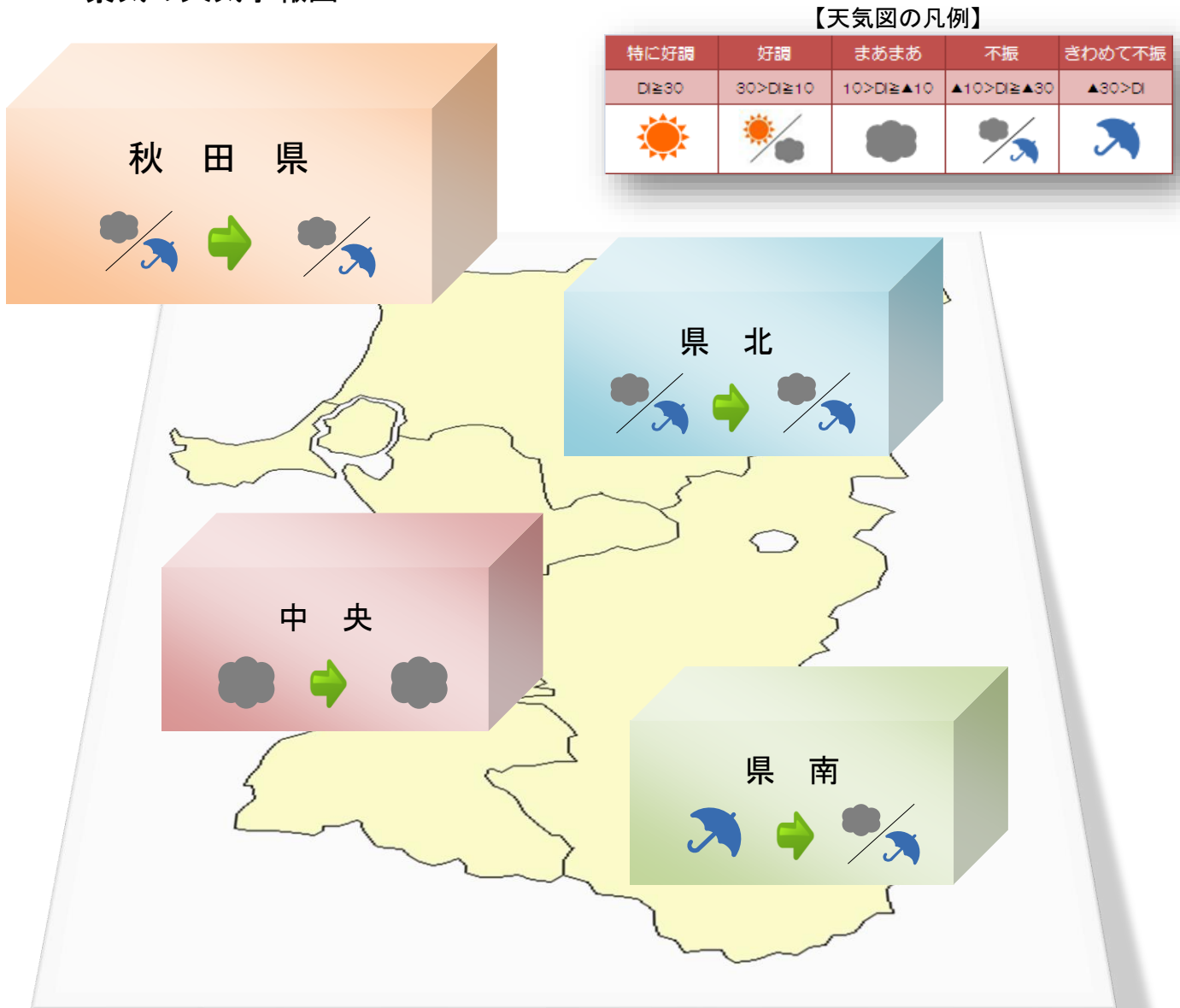
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.05 (n=116)	▲ 17.3	▲ 20.0	0.0	▲ 21.2	▲ 43.7
2021.08 (n=105)	▲ 5.7	▲ 6.9	29.0	▲ 43.8	7.7
2021.11 (n=109)	▲ 19.3	▲ 21.4	3.0	▲ 43.7	▲ 12.5
2022.02 (n=111)	▲ 18.0	▲ 25.0	5.3	▲ 46.7	▲ 6.6
2022.05 (n=106)	▲ 30.2	▲ 28.0	▲ 28.9	▲ 46.4	▲ 6.7
前回調査比	(▲ 12.2)	(▲ 3.0)	(▲ 34.2)	(0.3)	(▲ 0.1)
先行き見通し	▲ 16.9	▲ 32.0	▲ 2.6	▲ 17.9	▲ 26.7
今回調査比	(13.3)	(▲ 4.0)	(26.3)	(28.5)	(▲ 20.0)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

Ⅲ. 特別調査

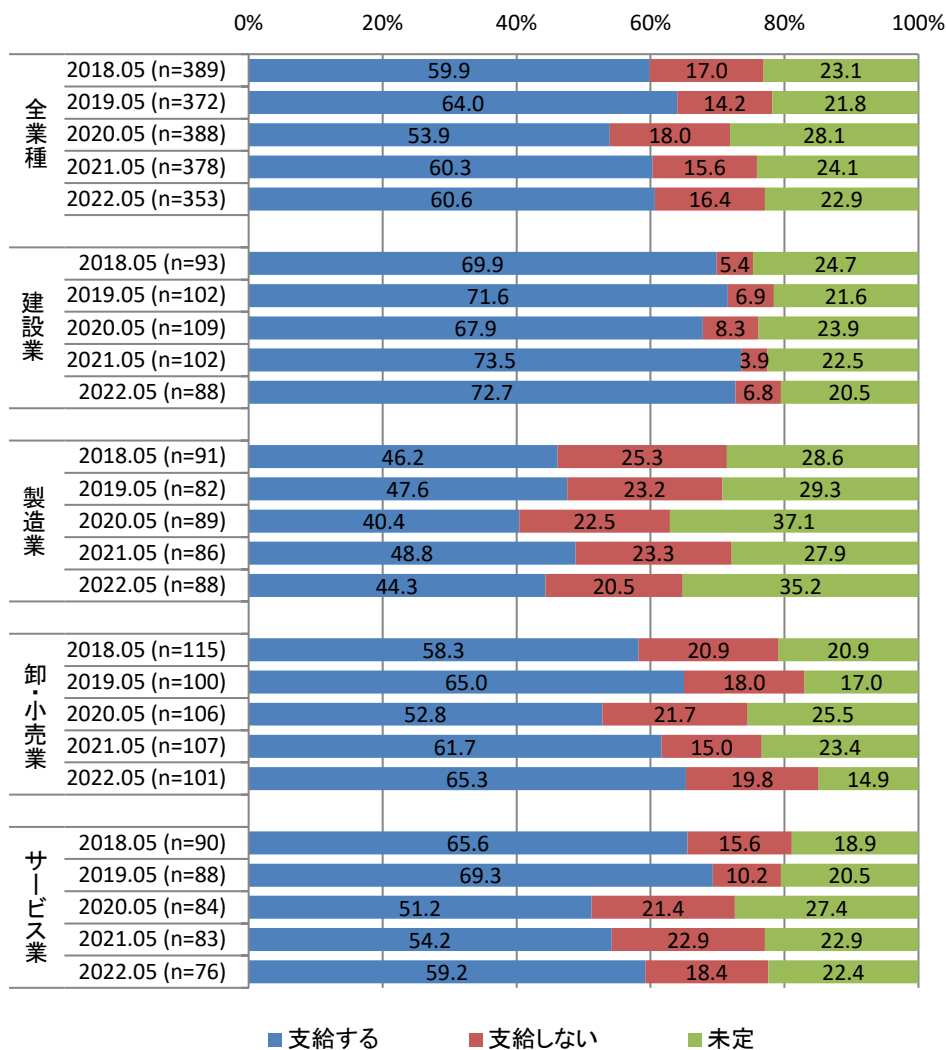
1. 夏季ボーナスの支給動向について

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給動向（予定）について尋ねたところ、回答企業（353社）の60.6%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（60.3%）から0.3ポイントとやや上昇したものの、ほぼ横ばいとなった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は16.4%で、前年調査（15.6%）から0.8ポイント上昇した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は建設業が72.7%で引き続き最も高く、次いで卸・小売業（65.3%）、サービス業（59.2%）、製造業（44.3%）と続き、この割合は卸・小売業とサービス業で上昇した一方、建設業と製造業では低下となった。

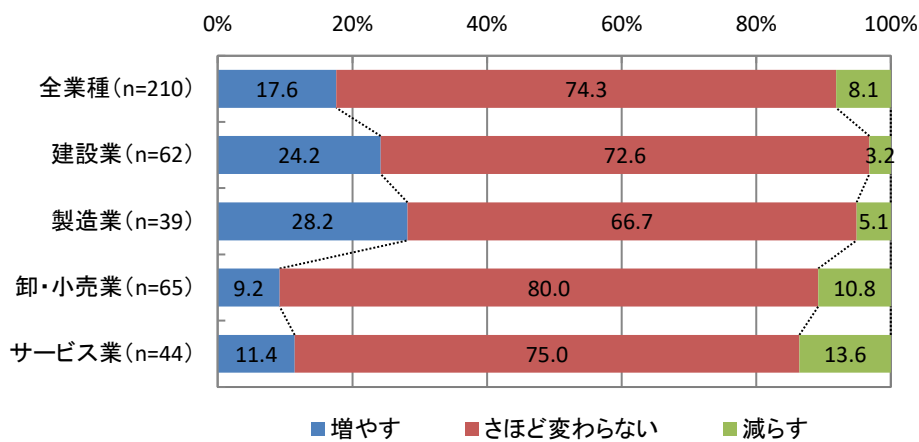
図表 16 業種別「夏季ボーナスの支給動向」



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業が74.3%で最も多く、これに「増やす」とした企業が17.6%と1割台が続いている。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合は製造業の28.2%が最も高く、最も低いのは卸・小売業の9.2%であった。一方、「減らす」と回答した企業の割合は、サービス業で13.6%、卸・小売業で10.8%となり、両業種では「増やす」の割合を上回った。

図表 17 業種別 夏季ボーナスを“支給する”企業の方針（昨年夏季比）

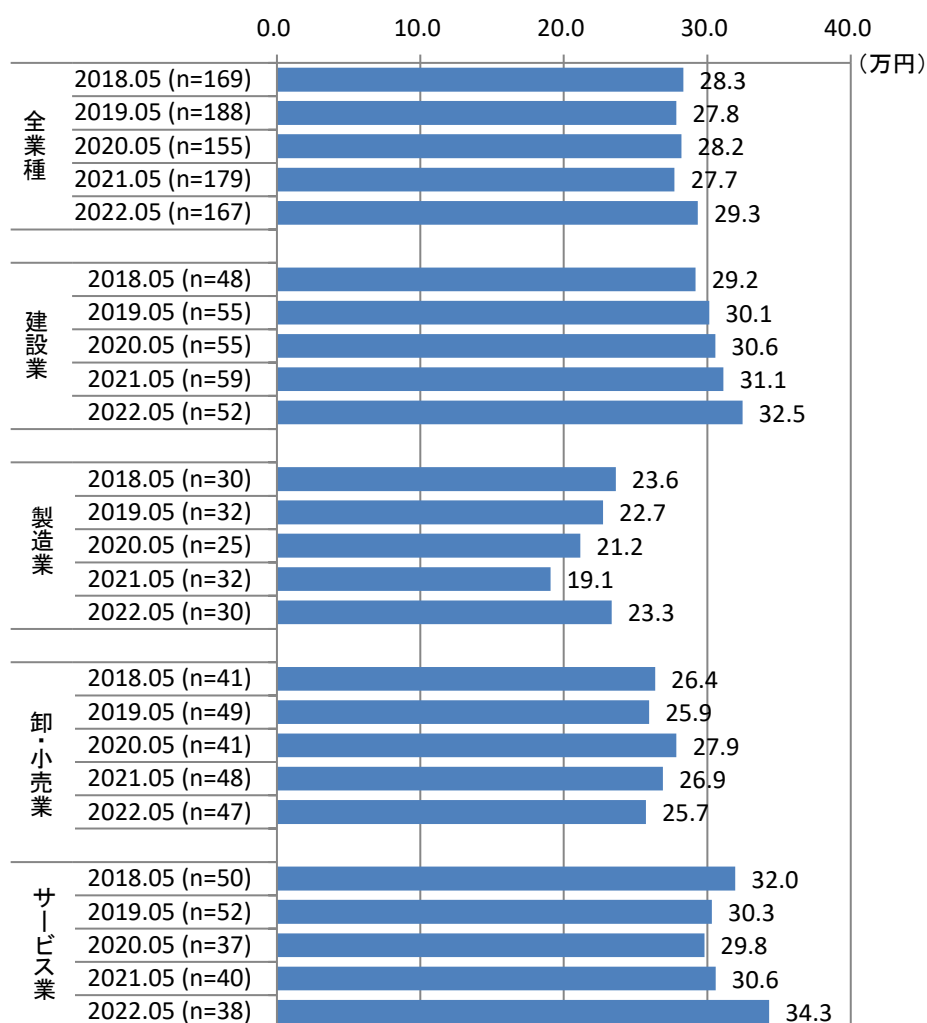


(2) 支給予定額について

夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均（167社）で29.3万円となり、前年調査に比べて1.6万円（5.8%）増加の見込みとなった。

業種別の平均支給予定額をみると、卸・小売業では減少が見込まれている一方、その他の3業種では増加の見込みとなっており、製造業では6年ぶりの増加が見込まれている。

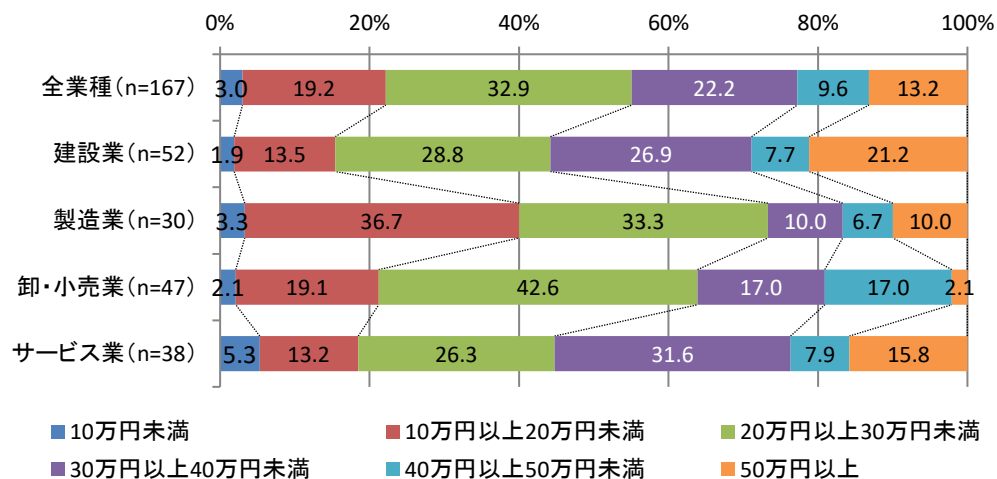
図表 18 業種別「夏季ボーナスの平均支給額」の推移



また、平均支給予定額の分布をみると、全業種では「20万円以上30万円未満」の割合が32.9%で最も高く、次いで「30万円以上40万円未満」（22.2%）、「10万円以上20万円未満」（19.2%）が続いている。

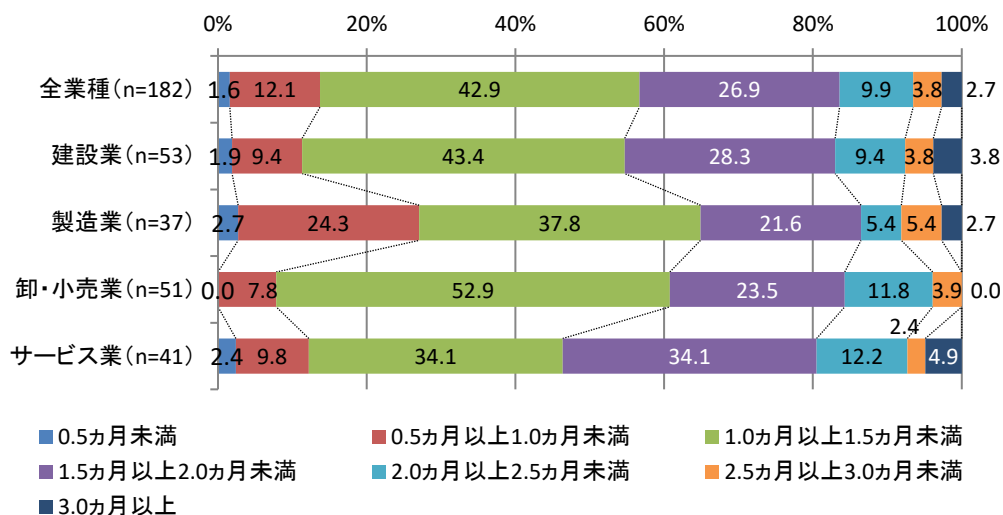
業種別にみると、前年調査と同様に、建設業と卸・小売業では「20万円以上30万円未満」の割合が最も高くなっている一方、製造業では「10万円以上20万円未満」、サービス業では「30万円以上40万円未満」が最も高くなるなど、業種によって違いが見られた。

図表 19 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定額」



平均支給予定月数については、全業種では「1.0ヵ月以上1.5ヵ月未満」が42.9%と最も高く、業種別にみても、卸・小売業の52.9%を始めとして、4業種すべてで「1.0ヵ月以上1.5ヵ月未満」が最も高い割合を示している。また、サービス業では「1.5ヵ月以上2.0ヵ月未満」の割合も「1.0ヵ月以上1.5ヵ月未満」と同率で最も高くなっている。

図表 20 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定月数」

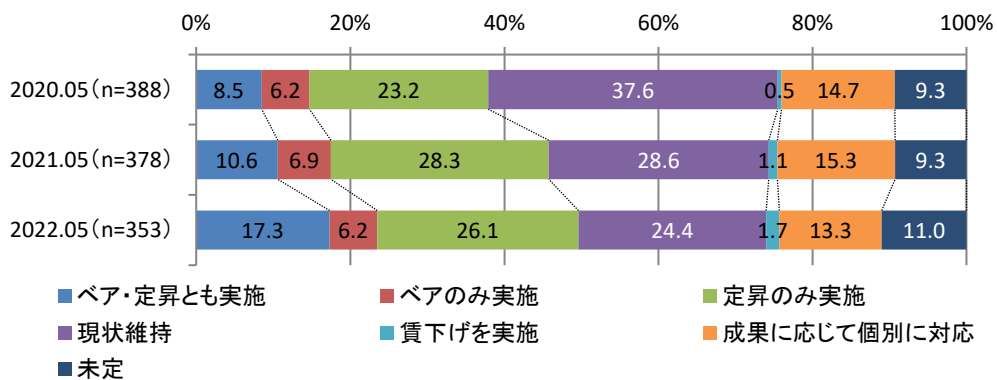


2. 春季以降の賃金改定動向について

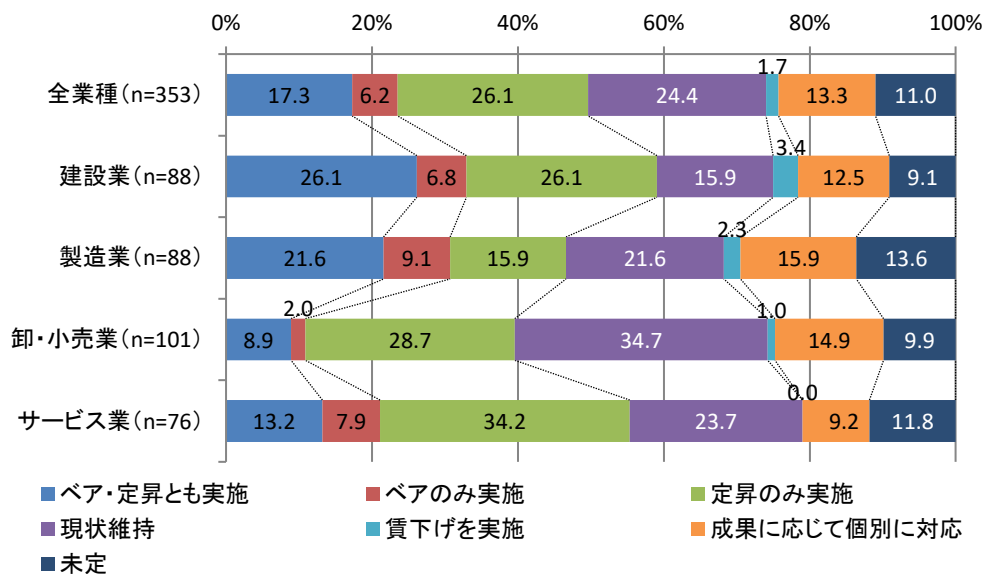
春季以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）についてうかがったところ、全業種では「ベア・定期昇給とも実施」する（した）企業は17.3%となり、これに「ベアのみ実施」（6.2%）と「定期昇給のみ実施」（26.1%）を加えた、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は49.6%となり、前年調査（45.8%）から3.8ポイント上昇した。

業種別にみると、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は建設業の59.0%が最も高く、以下はサービス業（55.3%）、製造業（46.6%）、卸・小売業（39.6%）の順となっている。

図表 21 全業種「春季以降の賃金改定動向」の推移



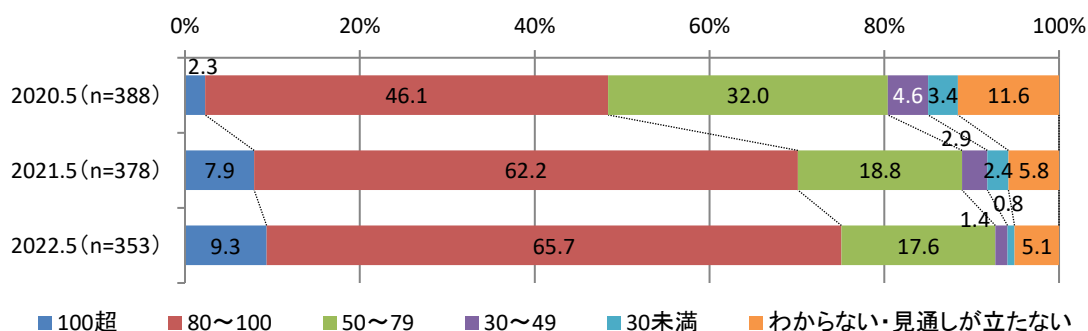
図表 22 業種別「春季以降の賃金改定動向」



3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響

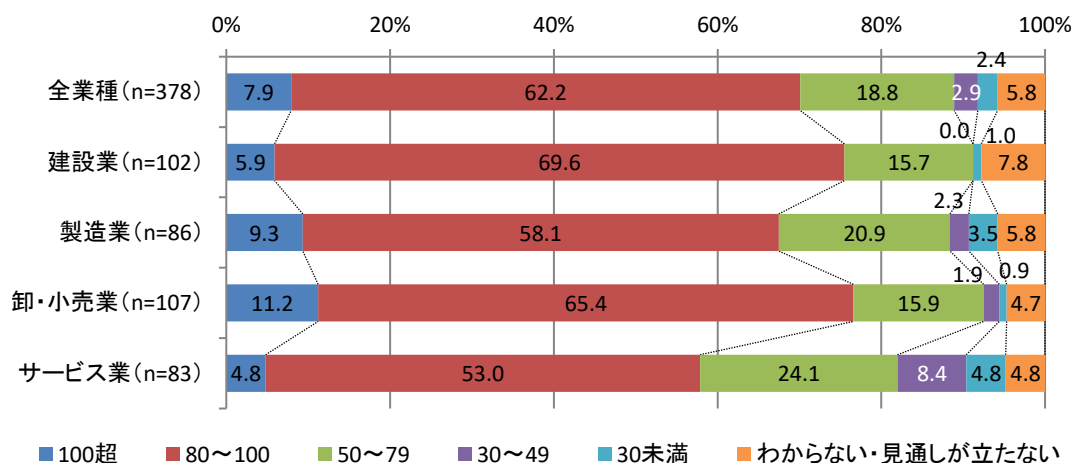
新型コロナウイルス感染症の事業への影響について、事業活動全体における平常時（コロナ禍前）の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しについてうかがったところ、全業種では「80～100」と回答した企業の割合が 65.7%で最も高く、前年調査（2021 年 5 月実施。62.2%）から 3.5 ポイント上昇した。これに「50～79」が 17.6%（前年調査比 1.2 ポイント低下）で続き、以下についてはいずれも 1 割未満の低い割合となった。この結果、平常時の 8 割未満に落ち込むことを見込んでいる企業の割合（「50～79」、「30～49」、「30 未満」の回答割合の合計）は 19.8%と、前年調査（24.1%）から 4.3 ポイント低下した。

図表 23 「平常時を 100 とした場合の今年度の業績見通し」の推移



業種別にみると、すべての業種で「80～100」の割合が 5 割以上を占め、最も高い割合となっている。反面、サービス業では平常時の 8 割未満に落ち込むことを見込んでいる企業の割合が 37.3%と、他の業種に比べて高くなっている。

図表 24 業種別「平常時を 100 とした場合の今年度の業績見通し」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	17	24	19	82
中央	64	50	68	76	258
県南	36	51	40	20	147
合計	122	118	132	115	487

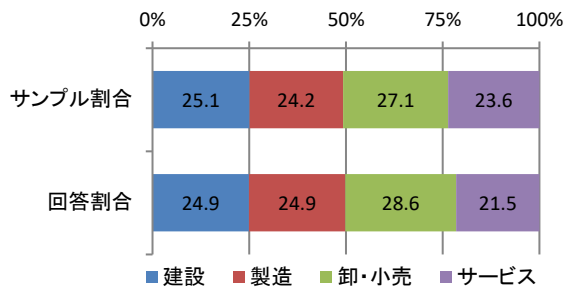
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	19	13	20	14	66
中央	44	37	53	47	181
県南	25	38	28	15	106
合計	88	88	101	76	353

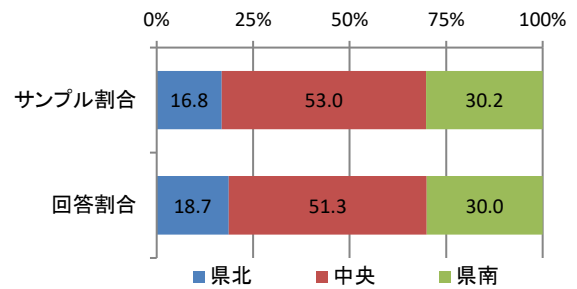
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	86.4	76.5	83.3	73.7	80.5
中央	68.8	74.0	77.9	61.8	70.2
県南	69.4	74.5	70.0	75.0	72.1
合計	72.1	74.6	76.5	66.1	72.5

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2022年5月2日（月）～16日（月）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F
Tel : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F
Tel : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp
URL : <https://www.fir.co.jp/>